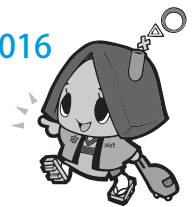


まんすりー 全旅連情報

7-8月号 2016

(合併号)

Vol.250



「宿ネット」 <http://www.yadonet.ne.jp/>

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F

TEL 03-3263-4428 / FAX 03-3263-9789

発行日: 平成 28年 7月 1日 定価: 150円 発行人: 清澤正人 印刷: 山陽印刷株式会社

- | | | | |
|-------------------------|---|-----------------------------|---|
| 全国大会で「無許可宿泊施設撲滅総決起大会」 | 1 | 平成28年熊本地震義援金/省庁便り 第4回グッドライフ | 6 |
| 「第94回全旅連全国大会in東京」を開催 | 2 | アワード、ジカ熱・デング熱対策 | |
| 平成28年度理事会・通常総会を開催 | 3 | 全旅連会議開催/経営ワンポイントアドバイス | 7 |
| 第19回「人に優しい地域の宿づくり賞」視察報告 | 4 | 全旅連協定商社会名簿 | 8 |

全国大会で「無許可宿泊施設撲滅総決起大会」 国会議員1人ひとり登壇してあいさつ 「まず今現在不法に行っている民泊を取り締まるのが大事」と訴え! 代理(秘書)含め約100人が参加

宿泊客と地域の安心・安全が大前提 「頑張ろう」のシュプレヒコールで全員の士気高揚

全旅連は6月8日、東京・新宿の京王プラザホテルで開催した第94回全旅連全国大会を、違法民泊の排除を強く訴え掛ける大会と位置付け、式典(2頁に掲載)終了後に第2部として「無許可宿泊施設撲滅総決起大会」を実施した。会場には各都道府県から約900人が集まり、警察に取締り強化を求める方針などを確認した。また、共に撲滅を目指そうと自由民主党観光産業振興議員連盟、生活衛生議員連盟の14人の衆・参議院議員が駆け付け、無許可民泊の撲滅を訴えるあいさつを行った。また、秘書等の代理人も77人が参加した。

北原会長は「この決起大会の趣旨は、いかにして旅館業法下の宿泊業界から不法民泊を排除し、国民に許可を受け、安全・安心の確保された宿泊施設を提供していくかということである」と述べたあと、民泊の現状や問題点に触れながら、あらためて「この大会を、これからの民泊業に、安全・安心にはそれなりのしっかりした備えを持つという覚悟と責任を持って営業してもらうことに繋げていきたい」と語った。また、伊吹文明衆議院議員(自民党・生活衛生議員連盟会長、京都選出)は「京都は97%が違法民泊であるが、日本は法治国家である。まずはこうした現状を放っておかず県議会や市議会への働きかけや、県警本部への訴え掛けを行うなど徹底した取締りから始めなくてはならない。必要となるルールづくりといった具体策はそれからの議論となる」と述べた。



無許可宿泊施設の撲滅を訴える北原会長



決起大会の会場を埋め尽くしていく各都道府県の代表者ら



北原会長、伊吹、山口両衆議院議員。右=厚生労働省等からの出席者

壇上では、山口泰明衆議院議員(自民党組織運動本部長)をはじめとした12人の国会議員のあいさつに続いて桑田青年部長が決議文を読み上げ、また、力強いシュプレヒコールをあげ大会を締めくくった。無許可宿泊施設撲滅総決起大会のスローガンは次の通り。

○民泊の営業日数は年間30日とすべし! ○民泊営業の家主は個人事業主としての登録を義務化すべし! ○無許可宿泊施設の取締りを強化すべし! ○無許可宿泊施設には厳しい罰則を! ○民泊を賃貸業にせず、旅館業法の範疇とすべし! ○家主不在の民泊管理業者は許可制とすべし! ○仲介事業者(プラットフォーム)には、施設提供家主(ホスト)の情報開示義務を課すべし! ○民泊も旅館業と同じ建築基準法の用途規制を遵守すべし!



決起大会前テレビ局からの取材に応える北原会長



スローガンを読み上げ後行われたシュプレヒコール

「第94回全旅連全国大会 in 東京」を開催 「大会宣言」と12項目の「決議」採択へ

全国大会は「無許可宿泊施設撲滅総決起大会」公正な競争条件の確保に注力



あいさつする北原会長と開会の言葉を述べる齊藤東京都理事長

全旅連は6月8日、東京・新宿の京王プラザホテルで第94回全国大会を、全国から組合員はじめ全旅連関係者など約1300人を迎えて開催した。第1部の「式典」では、「不法民泊を排除し、経営の安定と生産性の向上の達成に向け、邁進する」とした大会宣言と、「これが速やかなる実現に向け邁進する」とした12項目の決議を採択した。



上川壇上の全旅連役員。下川式典前に行われたテレビ局の取材

物故者への黙祷、国歌斉唱、そして齊藤東京都理事長の開会のあいさつに続いて、北原会長は「本年は無許可宿泊施設撲滅総決起大会と銘打っての全国大会であるが、これは今、全旅連という組織が、皆さまと共にどうあるべきかということ、われわれがもう一度確認し合えながら、また、全旅連という組織が国民の皆さまにも何を発信していいのか、何のために在るのかということをもう一度議論していく場にしていきたいことを目的としている。今後、新しい法律の名の下でできる民泊をどのように受け止めていくのか、どのような立ち位置で考えていくのかといったことをしっかりと議論していくが、これは、全旅連として公平・公正な競争条件の確保を目指していくものである」と強調し、「観光立国を支えるわれわれ宿泊業は、日本のおもてなしの心を世界に発信できる素晴らしい施設であることを誇りとしている。ぜひ、われわれの旅館・ホテルが世界の範となる施設となるよう、これからも全旅連は皆さまと一緒に歩んでいきたい」と結んだ。

このあと、来賓の塩崎恭久厚生労働大臣(代理・福田裕典生活衛生・食品安全部長)、谷垣禎一自由民主党幹事長、細田博之観議連会長、高階恵美子観議連事務局長、中川雅治参議院議員の5氏が祝辞を述べた。

熊本地震災害被災地への義援金贈呈のあと表彰式へと移り、厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰(14



広大なホールを埋めた大会参加登録者



大勢出席した各界からの来賓がそれぞれ紹介された



来賓祝辞を行つる上から福田、谷垣、細田、高階、中川の各氏。

第94回全旅連全国大会・表彰

大会での「人に優しい」賞表彰



各賞を代表して受章する上から塚本(秋田県、和田(山口県、津茂谷(島根県)の各氏



厚生労働大臣賞
阿蘇温泉組合(熊本県)



全旅連会長賞
鹿児島県組合青年部



観光経済新聞社社長賞
栃木県組合青年部



大会宣言と決議を行う佐藤、井上の両副会長と式典を締めくくった野澤副会長



選考委員会賞
静岡県組合



次期開催地となる石川県のみなさん

名)、中央会理事長感謝状(33名)、全旅連会長表彰(57名)と第19回「人に優しい地域の宿づくり賞」の表彰が行われ、続いて、大会宣言・決議の採決、次期開催地(石川県)の発表へと進んだ。また、全国大会では、協賛業者展示会場(関連企業含み77社が出展)や懇親会場も大勢の組合員で埋め尽くされた。

決議は、○防災拠点となる、災害に強い宿づくりを実現しよう! ○耐震改修促進法の補助制度の更なる充実を勝ちとろう! ○小規模宿泊施設の経営の安定化を推進しよう! ○働きやすい職場環境づくりに

賑わった懇親会と展示会=京王プラザホテルで



あいさつする望月義夫、小池百合子、片山さつき、東京都選出の各国会議員と田村観光庁長官、徐中華民国旅館商業同業公会理事長



アトラクション小池議員を囲んでの皆さん、旅館甲子園のPR、全旅連の展示ブースではシルバースター登録制度等をアピール。



懇親会場での北海道、中国フロックの皆さんと



よる生産性向上を目指そう！○地方創生とインバウンド対策を推進しよう！○税制の見直しと融資制度の改善を図ろう！○NHK受信料体系の見直しを実現しよう！○シルバースター登録制度の充実発展に努めよう！○青年部活動を推進し、後継者の育成と組織の活性化を実現しよう！○消費税の外税表示恒久化を目指そう！○女性経営者の会の更なる発展を目指そう！○全国旅館政治連盟活動を積極展開しよう！の12項目で、業界を取巻く諸問題に対峙する全旅連の取組みとなっている。

平成28年度理事会・通常総会を開催

理事会での各委員会報告が次年度に弾み質問や要望が相次いだ28年度の事業計画



閣議決定された規制緩和改革実施計画について語る北原会長



総会での事業計画の審議では多くの質問や要望が相次いだ



全旅連は6月7日、東京・港区の明治記念館で、平成28年度の理事会と通常総会を開き、議事ではい



左上から工藤、北堀、宮村、佐久間の各委員長、多田部会長、桑田部長、岡本会長、西上理事長

ずれも全議案を異議なく承認した。理事会では冒頭、北原会長は6月2日に閣議決定された、「民泊については、年間提供日数上限による制限を設けることを基本として、半年未満(180日以下)の範囲内で適切な日数を設定する」などとした「規制改革実施計画」について述べ、「われわれは今月と来月において、どういう形でこの民泊問題に決着をつけていくか重要な時期を迎えている。全旅連としては、中央からだけでなく、多くの批判や強い要望など地方からの声を内閣府に訴えていかななくてはならない状況となっている」と語り、これからの取組みに理解と協力を求めた。

理事会では、議案となっている平成27年度の事業報告の中で、労務(工藤委員長)、法務(北堀委員長)、財務(宮村委員長)、インバウンド&OTA対策(佐久間委員長)の各委員会の委員長、また、シルバースター部会(多田部会長)、青年部(桑田部長)、女性経営者の会(岡本会長)からの詳細な報告が行われた。また、引き続いて行われた通常総会の事業計画案の審議では、多くの質問や要望が相次ぎ、一部に修正が行われるなど事業活動は更なる充実をもって進められることになった。続いて平成28年度全国大会(東京都)、平成29年度全国大会(石川県が平成29年6月7日、石川県立音楽堂で開催)の開催を正式に承認した。このほか、熊本地震について西上熊本県理事長より報告がされた。この後、全国旅館ホテル事業協同組合の第16回通常総代会が行われ、全ての議案が承認された。



第19回「人に優しい地域の宿づくり賞」視察報告

厚生労働大臣賞：阿蘇温泉観光旅館協同組合（熊本県） 視察対象事業：外国人に優しい街づくりFlat内牧（うちのまき）事業

経緯：阿蘇温泉観光旅館協同組合（以下、「組合」）による「Flat内牧事業」は、お客様（外国人観光客）の利便性の向上、地域の商店街の活性化、さらには旅館の経営課題の改善とを同時に推進することに成功した先駆的な取り組みである。

近年、わが国で急速に増加している外国人観光客に対して、内牧温泉においても、そのニーズに見合うような受け入れ体制の整備が課題とされていた。そのためにもまず組合が実施したのが、アンケートや口コミから、外国人観光客が感じている不都合や潜在的なニーズを把握することであった。その結果、旅館に泊まる外国人観光客は、地域の居酒屋やレストランも体験したいと考えているものの、実際には「どこで何が食べられるか分かりにくい」、「日本語のメニューでは注文できない」、「クレジットカードが使えない」等、多くの障壁があることが明らかになった。

「Flat内牧」は、こうした外国人観光客のニーズをふまえ、地域の商店街を巻き込んで長期的な視点にたって受け入れ環境を整備することにより、こうした外国人観光客の障壁をフラット（平たん）にして、訪れたい街を目ざそうとする事業である。ところが、いざ商店街に目を向けると、商店街からは、お客様が旅館から出ないことが商店街の疲弊の原因とみられていることがわかった。商店街からの信頼を回復し、共存することの必要性を痛感した組合は、内牧の居酒屋・スナック23店舗において「外国語併記の店舗紹介マップ」や「店舗ごとの多言語（日英仏中韓）表記されたメニュー」を作成することで「言葉の壁」を解消し、ウェブサイトではそれらに加えて、各店舗内の「360度見渡せるサイトビュー」や「紹介動画」等を導入することにより、外国人観光客の「見えない・わからない不安の壁」を解消してきた。さらに「飲み歩きのためのメニューとチケット」により回遊を促すイベントを企画したり「クレジットカード決済」を導入する等、数々の試みが進められている。

評価：平成26年12月にスタートした本事業は、平成27年2月に「第一回九州未来アワード」インバウンド部門大賞を受賞し、広く知られるようになった。実際、本事業の導入後、1日は旅館の夕食を楽しみ、延泊して商店街の飲食店を体験するような形で阿蘇に滞在する外国人観光客が増えたという。飲食店（居酒屋）へのアンケートでも集客への貢献が明らかにされている。旅館にとっても、夕食時の原材料費や労働力の調整等による利益率の向上につながるなど、お客様、地域、旅館のそれぞれに、プラスの影響を与えている。外国人観光客が地域の飲食店を利用し、日本の日常生活にふれることは、彼らが日本の素顔を理解するうえで何よりの体験となるであろうし、外国人観光客が利用しやすいシステムは日本人客にも優しい。実際に外国人の多くが（日本人も）期待する夕食を兼ねた町歩きを地域で具現化させた本事業は、「宿の泊食分離化」と「地域の飲食店の活性化」という、日本の観光地に共通する課題に対し、多くのヒントを提供してくれるものであり、とくに平日客室稼働率の低い地域で参考になろう。

本事業は、お客様のニーズを的確に把握し丁寧に対応すること、そしてお客様を地域全体で迎え入れるために地域と連携・共存することという、旅館業を営むうえで欠かせない視点に忠実に進めることで、観光客の質的転換に適切に対応することに成功した。特筆されるべきは、これらの視点に真摯に向き合い、それに創意工夫や熱意をもって取り組みれば、限られた予算であっても、こうした改革が可能であることを実践した点にある。組合は商店街の活性化を目的とする国の補助事業に代理申請し、ボランティアで商店街の活性化のためのアイデアを提案し、関係者との対話と意見調整を重ねながら準備を進めてきた。本事業によって作成された商店街のサイトには、旅館の紹介など組合が関与した形跡は一切見られない。お客様の満足の向上と地域の活性化、そして今後の旅館のあり方のモデルを同時に提示する本事業は、まさに「人に優しい地域の宿づくり」を推進する取り組みとして、本質にふさわしいものである。なお、阿蘇地域は、平成24年の洪水、26年の阿蘇山噴火に続き、本年4月にも大地震に遭

遇した。既成概念の壁を乗り越え地域全体としての魅力を高める本事業の推進が、大地震の被害からの速やかな復興に向けた足がかりとなることを願ってやまない。



永田専務理事（左奥）と
関屋理事（手前）から説明を
受ける橋本委員長（右）



内牧温泉のようす



英語表記メニュー



街への回遊を促す告知ポスター



6つの不都合を解消させたホームページは必見

視察日：平成28年5月18日（水）
視察者：選考委員長 橋本俊哉（立教大学観光学部教授）



第19回「人に優しい地域の宿づくり賞」視察報告

全旅連会長賞：鹿児島県ホテル旅館生活衛生同業組合青年部 事業委員会 かごしま魚市場ツアー実行委員会

視察対象事業：鹿児島らしさ生かした、地域のホテルで協働した 「かごしま魚市場ツアー」事業

九州新幹線(鹿児島ルート)は2004年に新八代～鹿児島中央間が部分開通、2011年に全線開業となった。大河ドラマ『篤姫』(2008年)効果が残る中、2011年度の鹿児島県の宿泊客は新幹線開通効果と東日本大震災の国内観光の受皿効果で、前年比70%に近い伸びを記録した。一方、2004年以降に鹿児島で開業した大型ホテル(大手ホテルグループ)も10軒に及び、老舗高級ホテルも低価格で対応するなど競争が激化し混沌とした市場環境が続いている。

そのような中で「かごしま魚市場ツアー実行委員会」は本格稼働(2011年)6年目を迎えた。同実行委員会は鹿児島県ホテル旅館生活衛生同業者組合の青年部事業委員会活動の一環で、テストマーケティング(2010年)を経て発足したもので、7軒の宿が中心となり近隣の宿や県の観光連盟、市のコンベンション協会からの協力を得ながら展開している。

同ツアーは早朝魚市場に入り約1時間、競りや作業を間近で見学できるもので、特産のさつま揚げなどの試食やマグロの解体作業も見学できる。魚市場は忙しく荒々しい仕事場のため、通常は関係者以外の入場は不可能であるが、JF鹿児島島の役員が毎回ツアーを先導し説明戴くなど、市場関係団体(JF鹿児島、鹿児島魚市場)からの協力で実現に至った。

毎週土曜日に開催(冬季を除く)され、ツアー参加者の約70%が外国人観光客。それも近隣国からの団体客ではなく、世界各地(16カ国)から訪れる個人旅行者が中心。彼らはロンリープラネットやSNSを活用し自らが情報を収集し、名所旧跡だけを観るのではなく、むしろ未知に対する強い好奇心を持って訪れるこだわりの旅行者ともいえる。視察当日もイスラエルより3年間の兵役を終えた

若者が休暇を利用して、約1ヶ月間の日本旅行の一コマで同ツアーに参加していた。英文併記のパンフレットやツアーに同行する実行委員、JF鹿児島島の役員も英語対応をされる点が外国人に評価され、実行委員の宿を中心に英語研修や語学力を重視した採用にも波及している。

組合活動は地域により温度差があるものの、あるべき論が先行し排他的、閉鎖的になる傾向があるが、鹿児島もその例外ではなかった。実はかごしま魚市場ツアーの実行委員長は他県出身者で、九州ともかわりが無かったが、世界中を放浪していた経験を持ち鹿児島に魅せられ同地に住まい起業された。鹿児島には海外で見られるようなさまざまな旅行者のニーズに対応できる多様性が欠如しているとの判断から、外国人が安心して低廉に長期滞在できる宿づくりを目指した。当初、異端児扱いされていたが、青年部のメンバーが接触を試み、次第に相互に理解を深めることができ、結果的に組合にも加入され、組合組織内に化学反応をもたらす一因ともなった。

市場の拡大は市場の細分化を後押しし、大資本が群雄割拠していても中小零細事業者の繁栄を可能とする。若いエネルギーを結集し、知恵を使い汗を流し、自分たちならではのワクワクするような楽しい企画を創り出す絶好の機会でもある。「かごしま魚市場ツアー」の商品化はその良い事例ではあるが、その背景にあるさまざまな教訓と体験を活かし、さらなる挑戦を期待したい。「生き残る者は強者でも賢者でもなく、変化に柔軟に対応できる者である」を強く感じさせられた視察であった。



かごしま魚市場ツアー実行委員会の皆さん



マグロの解体を実演



さつま揚げが振る舞われ、イスラエルからの参加者もご満悦



セリ場内の様子



鹿児島漁連の役員から説明を受ける平塚委員

視察日：平成28年5月24日(火)

視察者：選考委員 平塚良成(特定非営利活動法人医療事業再生機構理事長)

熊本地震義援金の御礼とご報告

全旅連では、平成28年熊本地震により被害を受けられた組合員の皆様を支援するため、各都道府県組合を通じて義援金を募集したところ、6月3日現在、452万5193円ものご厚志を賜りました。皆様のご協力に心より御礼申し上げます。

皆さまからお預かりした義援金の一部は、6月8日の全国大会席上におきまして、井上善博九州ブロック会長にお渡しいたしましたことをご報告いたします。

義援金の募金につきましては、5月31日までとしておりましたが、いまなお余震が続き、復旧・復興に時間がかかり、営業再開を果たせない施設もあります。

このため、義援金の募集期間を8月31日まで延長することにいたしました。引き続き、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



全旅連全国大会での義援金を
受けとる井上九州ブロック長

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

省庁便り 環境省 第4回グッドライフアワード 環境と社会に「いいこと」募集中!

「グッドライフアワード」は、環境に優しい社会の実現を目指し、日本各地で実践されている「環境と社会にいい暮らし」に関わる活動や取組を募集して紹介、表彰し、活動や社会を活性化するための情報交換などを支援していくプロジェクトです。4回目の開催となる「グッドライフアワード」では、今年も、生活者や各種団体、企業などが行っている「環境と社会にいい暮らし」を実現するための取組を募集します。みなさんの取組についての情報を発信することで、日本で暮らすひとり1人がライフスタイルを見直すきっかけになることを目指しています。

【応募期間】2016年6月1日～9月30日

応募方法等詳細は下記HPを参照

URL:http://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward/

省庁便り 厚生労働省 ジカ熱・デング熱対策

ジカウイルス感染症(ジカ熱)やデング熱の原因となるウイルスは、それらの感染症に感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染を広げていきます。

ヒトスジシマカは、空き缶に溜まった雨水など、小さな水たまりを好んで卵を産み付けます。周囲の水たまりを無くすことで、蚊の数を減らすことができます。蚊の発生を減らすため、定期的に周辺環境の水たまりの除去、下草刈り、雨水ます・排水ますの清掃などにご協力をお願いします。

●ジカ熱・デング熱に関する詳しい情報は厚生労働省HPをご覧ください。

ジカ熱 厚労省

検索

デング熱 厚労省

検索

腸内細菌検査、ノロウイルス検査 旅館・ホテル組合員特別価格のご案内

	腸内細菌検査(検便)	ノロウイルス検査
検査項目・方法	サルモネラ菌、腸チフス菌、パラチフスA菌、赤痢菌、腸管出血性大腸菌O-157	RT-PCR法による遺伝子増幅法検査
報告日数	3～5営業日	1～3営業日
料金	※組合員特別価格 300円/1検体(税別)	※組合員特別価格 検査料金 2,950円/1検体(税別) 検査容器代 50円/1検体(税別)
備考	検体送料は、定期的実施分は弊社で負担いたします。追加実施分は、お客様でご負担願います。	検体送料は、お客様でご負担願います。(宅配便クール冷蔵指定)

検査申込書ダウンロード

全旅連公式HP
「宿ネット」組合員専用ページ
<http://www.yadonet.ne.jp/member/>

お申込・お問合せ

JFE東日本ジーエス株式会社
食品衛生調査センター
TEL:044-328-2788
FAX:044-333-1655
<http://www.eisei-chosa.com/>

安心・真心・優しさで選ばれる宿になりませんか

シルバースター登録制度は、急速に進んでいる日本の高齢化社会に対応するため、業界から自主的に起こった制度です。国内の宿泊旅行に限ると、2～3割が高齢者である現在、高齢者の宿泊施設へのニーズが強い事は当然であり、全旅連ではそうしたニーズに十分対応できる旅館・ホテルを数多く整備する事が業界全体の発展につながると考えています。

シルバースター登録制度がスタートし平成5年9月の第一号店誕生から、今では北海道から沖縄まで約800軒の施設が登録を受け、「優しい心」を示すマークを掲げています。

全旅連では、シルバースター登録制度を広く内外への周知を図るとともに、厚生労働省の協力を受けながら推進しています。

ぜひシルバースターにご登録いただき、ハード・ソフト両面の整備と充足にお役立てください。

◎しおりは、各都道府県旅館ホテル生活衛生同業組合までご請求ください。
◎お問い合わせは、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会まで。



全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目5番5号全国旅館会館4階
tel.03-3263-4428 fax.03-3263-9789 URL:<http://www.yadonet.ne.jp/>
全旅連シルバースター部会公式サイト(人に優しい宿サイト)URL:<http://yadonet2.jp/>

全旅連会議開催

【6月】

7日(火)

- 全旅連理事会
- 全旅連通常総会
- 全国旅館ホテル事業協同組合第16回通常総代会
- 全旅連事業サービス(株)株主総会
於：明治記念館(東京都港区)

8日(水)

- 第94回全旅連全国大会 in 東京
- 無許可宿泊施設撲滅総決起大会
於：京王プラザホテル(東京都新宿区)

9日(木)

- 旅政連耐震問題検討対策本部
- 旅館二団体協議会幹部会
- 全旅連青年部常任理事会 他
於：砂防会館(東京都千代田区)

29日(水)

- 平成28年度全旅連シルバースター部会総代会
於：砂防会館(東京都千代田区)

今後の予定

第7回スパ&ウエルネス ジャパン2016(全旅連協賛)

日程：2016年9月12日(月)～14日(水)

時間：10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト 西1・2ホール&アトリウム

主催：UBMメディア株式会社

企画：月刊Diet&Beauty

後援：経済産業省、観光庁、他

お知らせ

次号9月号は、9月1日発行となります。

※本号は、7・8月合併号です。8月1日の発行はありません。

経営ワンポイントアドバイス

「まんすりー」経営改善講座

渡邊 清一郎

「また行きたい」と思わせるお店に出会うと誰かに教えなくなる。それらのお店にはいくつかの共通点がある。①スタッフのマニュアルにとらわれない個性あふれるもてなし。②素材の目利きと基本に裏打ちされた創造性に富んだ料理。③金額に見合った内容。内容には、料理、設備、サービスなどのすべてが含まれる。

私が子供のころは、何かおいしいものを食べたいといえば最高級はホテルのレストラン、でも高額だからデパートの食堂だった。今は都市部のみならず地方においても街の飲食店で事は足りる。「この時期しか獲れないあの魚」「あの和牛を一度は」というような特別な欲求でも、地方の高級素材は高額な値段で取引されるところに集まるので、地元をスルーしてお金を出せば東京でほとんどが揃ってしまう。

施設や設備それのみで人の心をつかみ続けることは難しい。温泉についてもよほど特色のある泉質や環境でなければどこにでもある。しかし、もてなしについてはそれぞれの施設独自の表現の仕方がある。

損益分岐点を上回る売上を計上するために必要な顧客数は中小施設で年間数千人から数万人、大規模施設でも10万人から50万人程度。国内旅行の年間延べ人数が3億人程度で推移していることを考えると、自館のターゲットはかなり絞り込むことができる。

通販を駆使すれば自宅に居ながら相当なものが手に入るようになった今、ホテル旅館に欠かせないキーワードは「そこでしか、その時にしか」だと思う。そこでしか出会えない人、そこでその時にしか出会えない環境、そこでその時にしか食べられないもの。気が付いていないものがまだまだある。

質問・相談は

watanabe@yadonet.ne.jp 携帯(090-3322-7208)

または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

省エネ!
顧客満足度向上!
コジマの法人営業に
おまかせください!



最新エアコンやLED照明導入による電気代削減をご提案!



人気のエステ家電や空気清浄機など宿泊施設の満足度向上をご提案!

コジマ

コジマの法人営業

<http://www.kojima.net/business>

電話 **03-6907-3116**

受付時間 10:00～18:00

※土日祝はお休みです

お電話または法人様向けホームページより
お気軽にお問い合わせください

東北支社開設

全国に4拠点。更なるサービス拡充を目指します!

まずはお気軽にお問い合わせください

☎ **045-227-6505**

やどけん
宿研

検索



株式会社宿泊予約経営研究所

Syukuhaku Yoyaku Keiei Kenkyujo Co.,Ltd

<本社> 〒220-8120

神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー 20階

TEL:045-227-6505 FAX:045-227-6507

全旅連協定商社会 名簿

協 賛	システム・シャイン・サービス(株)	ジュータン及び椅子のメンテナ ンス(シミ汚れにSUPER 3S)	〒171-0052 東京都豊島区南長崎6-8-10 加藤 卓	TEL 03-5996-5407 FAX 03-5996-5435
	(株) トランスネット	ホテル旅館向け各種インタ ーネットソリューション販売	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-1 三恵ビル8F 営業企画部 土方 昇	TEL 03-6681-3140 FAX 03-6686-1039
	ソニー生命保険(株)	生命保険コンサルティング 他	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル31F 東京中央LPC第3支社部長 中野秀嗣	TEL 03-4334-5203 FAX 03-4334-5213
	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	損害保険	〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿1-28-1 専業・マーケット開発部 市場開発室 担当課長 高橋智也	TEL 03-5789-6450 FAX 03-5789-6449
	丸八真綿グループ (株) マルハチプロ	丸八真綿寝具販売他	〒321-0982 栃木県 宇都宮市 御幸ヶ原町81-7 (株) 東日本丸八真綿 宇都宮支店内営業部 副課長 玉木信安	TEL 028-663-6166 FAX 028-663-6238
	サントリーフーズ(株)	ソフトドリンクメーカー 清涼飲料用自動販売機の 設置	(東日本担当) 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-3 赤坂見附MTビル3F サントリーパレツジソリューション(株) 首都圏支社 法人開発部 法人開発二課 桑田隆之	TEL 03-3479-1491 FAX 03-3479-2063
			(西日本担当) 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル18F サントリーコーポレートビジネス(株) 西部支社 法人営業部 部長代理 桑田美仁	TEL 06-6346-1164 FAX 06-6345-5768
	(株) リクルートライフスタイル	旅行雑誌じゃらん、 じゃらん.net等	〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 旅行営業統括部 事業推進部 営業推進グループ 檜垣憲一	TEL 03-6835-6240 FAX 03-6834-8784
	(株) セラミックテクノロジー	客室木部白木再生、各種 浴場等の各種再生	〒414-0055 静岡県伊東市岡1274-9 松坂博行	TEL 0557-48-6026 FAX 0557-38-6557
	ミサワホーム(株)	旅館ホテル客室等のリフォ ーム・新築	〒163-0833 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル 法人営業 全旅連担当課長 田崎裕治	TEL 03-3349-8044 FAX 03-4570-5668
	(株) 第一興商	カラオケ機器(DAM) 音響・映像関連機器	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 営業統括本部 特販営業部 営業2課 エリアマネージャー 関口雅弘	TEL 03-3280-6821 FAX 03-3280-0862
	(株) コジマ	家電製品全般	〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-28-13 池袋西口共同ビル8階 営業本部営業部 法人営業室 主任 原 智一	TEL 03-6907-3116 FAX 03-6907-2996
	(株) エクシング	カラオケ機器販売(JOYSOU ND,UGA)音響・映像関連機器	〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館8F 営業本部 直販営業部ホテル開発営業G 峰山直治	TEL 03-6848-8183 FAX 03-6848-8186
	東京海上日動火災保険(株)	旅館賠償責任保険	〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16 旅行業営業部 営業第一課 主事 北川 恵	TEL 03-5537-3491 FAX 03-5537-3471
	AIU 損害保険(株)	組合員向各種損害保険	〒990-0033 山形県山形市諏訪町1-1-1 センチュリープレイス山形7F 山形支店 支店長 池田文彦	TEL 023-633-8282 FAX 023-633-8353
	楽天(株)	予約サイト楽天トラベル等	〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1 楽天クリムゾンハウス トラベル事業 国内営業部 チェーンホテルグループ マネージャー 永富文彦	TEL 050-5817-3369 FAX 03-6670-5253
	(株) 宿泊予約経営研究所	予約サイト運用業務代行サ ービス	〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー20F 営業企画室 統括マネージャー 北園勇人	TEL 045-227-6505 FAX 045-227-6507
	(株) シーナッツ	予約・販売管理システム TLーリンカーン	〒105-0021 東京都港区東新橋2-3-3 ルオーゴ汐留8F システムソリューション本部 山田あかね	TEL 03-5404-6702 FAX 03-5404-6706
	(株) i.JTB	宿泊予約サイト るるぶトラベル	〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11 JTBビル17階 執行役員販売本部長 山口健一	TEL 03-5796-5675 FAX 03-5796-5863
	ヤフー(株)	Yahoo!トラベル 国内宿泊予約	〒107-6211 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー ショッピングカンパニー 予約事業本部 トラベル営業部 マネージャー 伊藤和也	TEL 03-6214-0736
	近畿日本ツーリスト個人旅行(株)	宿泊予約サービ スe宿(いーやど)	〒163-0235 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル 35F e宿泊事業部 事業戦略グループ 萩原佳典	TEL 03-6733-5110 FAX 03-6733-5353
	(株) JTBビジネスインベーターズ	クラウド型業務システム、自社HP予 約決済システム、外貨取扱支援など	〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11 JTBビル6階 宿泊ソリューション営業部 森 淳	TEL 03-5796-5955 FAX 03-5796-5972
	(株) Nexyz.BB	LED照明レンタル事業	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-4 ネクシィーズスクエアビル サービス企画課業務推進係 井場裕紀	TEL 03-6415-1210 FAX 03-3770-2307
	(株) エス・ワイ・エス	自社HP予約エンジン 「OPTIMA」	〒107-0062 東京都港区南青山5-10-2 第2九曜ビル3F たびレシビ事業部 鳥澤靖史	TEL 03-3486-1070 FAX 03-3486-1071
	(株) Ctrip Japan	中国インバウンド予約サイト 「Ctrip」	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-11-10 9F ホテル事業部マーケットマネージャー 山田崇博	TEL 03-5643-8551 FAX 03-5695-9390
	日本テクノ(株)	高圧電気設備保安管理・点検 電気料金削減コンサルタン	〒163-0651 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル51階 営業推進部 MC・東日本営業課 係長 相川 淳	TEL 03-5909-5389 FAX 03-5909-5379
(株) エスコ	省エネ設備機器等補助金申 請代行コンサルティング	〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー12F ソリューション営業部 係長 小野寺雄士	TEL 03-5332-3166 FAX 03-5332-3512	
(株) パラダイムシフト	オールインワン業務支援ソフト 「レップチェッカー」	〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-3-6 パラダイムシフトビル 営業部 部長 古瀬路里	TEL 03-5825-9970 FAX 03-5825-9971	
エクスペディアホールディングス(株)	インバウンド予約サイト 「Expedia」	〒106-0032 東京都港区六本木1-9-9 六本木ファーストビル7F 営業推進部 部長 堀口貴範	TEL 03-4577-3200 FAX 03-3505-3560	
推 奨	三菱電機ビルテクノサービス(株)	エレベータ設備・管理	〒116-0002 東京都荒川区荒川7-19-1 首都圏第一支社 業務部 参事 倉場和紀	TEL 03-3803-7319 FAX 03-3803-5234
	(株) フジ医療器	マッサージチェア	〒108-0023 東京都港区芝浦3-2-16 田町イーストビル1F 商経営業部 企業担当ユニット 鈴木哲治	TEL 03-3769-6600 FAX 03-3769-6601
	(株) ディ・ポップス	訪日外客向けSIMカードの 販売	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー30F 株式会社ビヨンドゥ 代表取締役 北村陽二	TEL 03-3797-5557 FAX 03-3797-5556